

高校生 ICT Conference 2019

in 帯広

人はなぜ SNS を使うのか？ ～改めて考える SNS の使い方～

開催報告書

2019年9月23日(祝)10:30-16:30

【会場】： とかちプラザ

主催

高校生 ICTカンファレンス実行委員会

(構成団体)

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省、十勝毎日新聞社

2019年10月4日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2019 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2019 in 帯広 開催概要.....	5
4. 主担当.....	7
5. 高校生 ICT Conference 2019 サミット.....	7
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	8
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	8

1. 開催概要

名称：	<p>高校生 ICT Conference 2019</p> <p>テーマ： 人はなぜ SNS を使うのか？ ～改めて考える SNS の使い方～</p>
主催：	<p>高校生 ICT カンファレンス実行委員会 (構成団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省、十勝毎日新聞社
後援：	北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道私立中学高等学校協会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	<p>グーグル合同会社、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリーン株式会社、アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社メディア開発綜研、株式会社インテグラル、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、ジョイズ株式会社、エースチャイルド株式会社、Twitter Japan 株式会社、一般社団法人情報教育研究所</p>
協力：	<p>株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社、</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2018 年度には、全国 18 拠点にて開催し、計 137 校 562 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】</p> <p>2011 年に高校生 ICT カンファレンスがスタートして 9 年目、第 1 回のテーマは「ネ</p>

	<p>ットとケータイの問題点」でした。9年の時を経て、高校生のネット接続ツールは、ケータイからスマホへ変わり、Facebook、LINE、twitter や Instagram と次々と新しいツールが登場しながらも、本質が SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）でのコミュニケーションであることに変わりはありません。</p> <p>SNS を使った犯罪やネットいじめは引き続き続いており、不適切動画の投稿による炎上は、対象企業の事業継続を左右する社会問題となっています。</p> <p>このように、様々な問題を抱えつつも、SNS はどうして高校生をはじめ、多くのインターネット利用者を惹きつけるのでしょうか？</p> <p>SNS の魅力やその功罪について熱い議論を通じて、改めて SNS との付き合い方や使い方について考え、提言をまとめます。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取り組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	<p>募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference2018 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長）

	<ul style="list-style-type: none"> • 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） • 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） • 小城 英子（聖心女子大学） • 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】</p> <p>安心ネットづくり促進協議会</p> <p>〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階</p> <p>TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	--

2. 高校生 ICT Conference 2019 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
札幌	2019年9月28日	内田洋行札幌ユビキタス協創広場 U-cala
帯広	2019年9月23日	十勝プラザ
宮城	2019年9月28日	東北工業大学一番町ロビー
山形	2019年10月5日	米沢伝国の杜
茨城	2019年8月23日	茨城県教育研修センター
神奈川	2019年8月24日	岩崎学園
新潟	2019年8月20日	新潟コンピュータ専門学校
石川	2019年8月25日	金沢市リファーレ会議室
長野	2019年9月28日	安曇野市明科公民館
静岡	2019年9月29日	専門学校 静岡電子情報カレッジ 森下町キャンパス
愛知	2019年10月19日	名古屋女子大学
大阪	2019年9月1日	内田洋行大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
奈良	2019年9月29日	帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス
高知	2019年9月7日	オーテピア
福岡	2019年9月21日	LINE Fukuoka
佐賀	2019年10月13日	佐賀大学
長崎	2019年8月8日	諫早文化会館中ホール
大分	2019年8月25日	ホルトホール大分
鹿児島	2019年8月17日	鹿児島大学
サミット	2019年11月3日(祝)	東京ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行)

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。(サミット熟議のみ参加) ※2018年度実績：福井、沖縄

3. 高校生 ICT Conference 2019 in 帯広 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 41 名の参加者を得て、人はなぜ SNS を使うのか？～改めて考える SNS の使い方～をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 司会進行・主旨説明 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 吉岡 良平 様 高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。</p> <p>開会の挨拶 十勝毎日新聞社 伊東 肇 様 今日のテーマは身近な話題なので、自由闊達に大人の固定概念にとらわれないよう議論し、帯広の意見を東京に持って行って欲しい旨のご挨拶をいただきました。</p> <p>総務省 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長 能登部 康生 様 青少年のスマホ利用率や SNS による犯罪被害件数の推移など、国の調査データを基にご説明頂いた他、具体的な「e-ネットキャラバン」など、総務省における青少年の安心安全なインターネット利用環境の整備に関する取り組みについてもご紹介頂きました。</p> <p>北海道高等学校 PTA 連合会 会長 新井田 寛 様 今、自分も毎日、SNS を使っている。大変便利なツールである。また 2045 年には、人工知能 (AI) が人間を超えられている。でもコミュニケーション能力と読解力では人間が勝っているようだ。皆さんも人間にしか出来ない、コミュニケーション能力、読み解く力を身につける事が大事。今日はその能力を発揮して、はじめての人とも交流を深めてくださいとご挨拶いただきました。</p> <p>第一部 事業者による講演 株式会社ラック 落合 博幸 様 インターネット上のサイバー攻撃の状況をリアルに見せながら、自社を例に、インターネット監視の取り組みについて紹介いただきました。その後、今日のテーマへのヒントとして、日々実施されているワークショップでの取組事例を上げながら、SNS 利用の背景にある承認欲求 (マズローの自己実現) をベースとした、SNS と学齢における啓発の必要性、高校生自身が考えることの重要性についてお話をいただきました。</p> <p>アイスブレイク、 自己紹介 4 つのグループに分かれ、アイスブレイクの後、各グループ内で自己紹介などを実施しました。</p>
----	---

	<p>第二部：熟議「人はなぜ SNS を使うのか？ ～改めて考える SNS の使い方～」 グループに分かれ参加校の引率先生がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。メモや付箋紙を活用しながら模造紙に貼り付けて意見を整理分類しまとめて行きました。</p> <p>第三部：グループ発表 各グループともプレゼンテーションソフトを活用して3分程度の発表を行いました。（詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください）</p> <p>その後、参加生徒により、11月3日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い、北海道帯広柏葉高等学校が代表校に選出され、発表されました。</p> <p>最後に、帯広コア専門学校 副校長 阿部 肇 様より以下講評と閉会のご挨拶をいただきました。</p> <p>知らない人と意見を交わすことは貴重な体験だったと思う。年齢が高くなると利用の範囲を限ることが多くなるが、高校生はいろいろな SNS を利用している。コミュニケーションスタイルは時代とともに変わってきており、これから AI、VR と技術の進歩で、さらに世界が変わっていく。しかし、共感を得ることは大切でありこのためにも、いろいろな本を読むなどして見識を広めて欲しい。</p>
参加校：	北海道帯広緑陽高等学校 北海道清水高等学校 北海道士幌高等学校 北海道帯広柏葉高等学校 北海道帯広南商業高等学校 北海道本別高等学校
日 時：	2019年9月23日（祝）10：30－16：30
場 所：	とちかちプラザ（帯広市西4条南13丁目1）
参加人数：	熟議参加生徒 23人 見学者・関係者 18人（教員・教育関係者・その他） 合計： 41人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略） 【グループ名：1】5名 北海道帯広緑陽高等学校1年女子、北海道清水高等学校2年男子、北海道士幌高等学校1年女子、北海道帯広柏葉高等学校2年女子、北海道帯広南商業高等学校2年女子、 〔ファシリテーター〕 （有）ワン・エックス 辻田 茂生

	<p>【グループ名：2】6名 北海道帯広緑陽高等学校2年男子、北海道清水高等学校3年女子、北海道士幌高等学校1年女子、北海道帯広柏葉高等学校2年女子、北海道帯広南商業高等学校2年女子、北海道帯広南商業高等学校2年男子</p> <p>〔ファシリテーター〕 帯広コア専門学校 椋井 保行</p>
	<p>【グループ名：3】6名 北海道帯広緑陽高等学校2年男子、 北海道清水高等学校3年女子、 北海道士幌高等学校1年女子、 北海道帯広柏葉高等学校2年女子、 北海道帯広南商業高等学校2年女子、 北海道帯広南商業高等学校2年男子</p> <p>〔ファシリテーター〕 十勝毎日新聞社 佐藤 裕介</p>
	<p>【グループ名：4】6名 北海道帯広緑陽高等学校2年男子、北海道清水高等学校2年女子、北海道士幌高等学校1年女子、北海道帯広柏葉高等学校2年女子、北海道帯広柏葉高等学校2年男子、北海道本別高等学校2年男子</p> <p>〔ファシリテーター〕 十勝毎日新聞社 伊東 肇</p>

4. 主担当

安心ネットづくり促進協議会	事務局
十勝毎日新聞社 総務省北海道総合通信局	会場、什器備品手配 飲食手配、庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

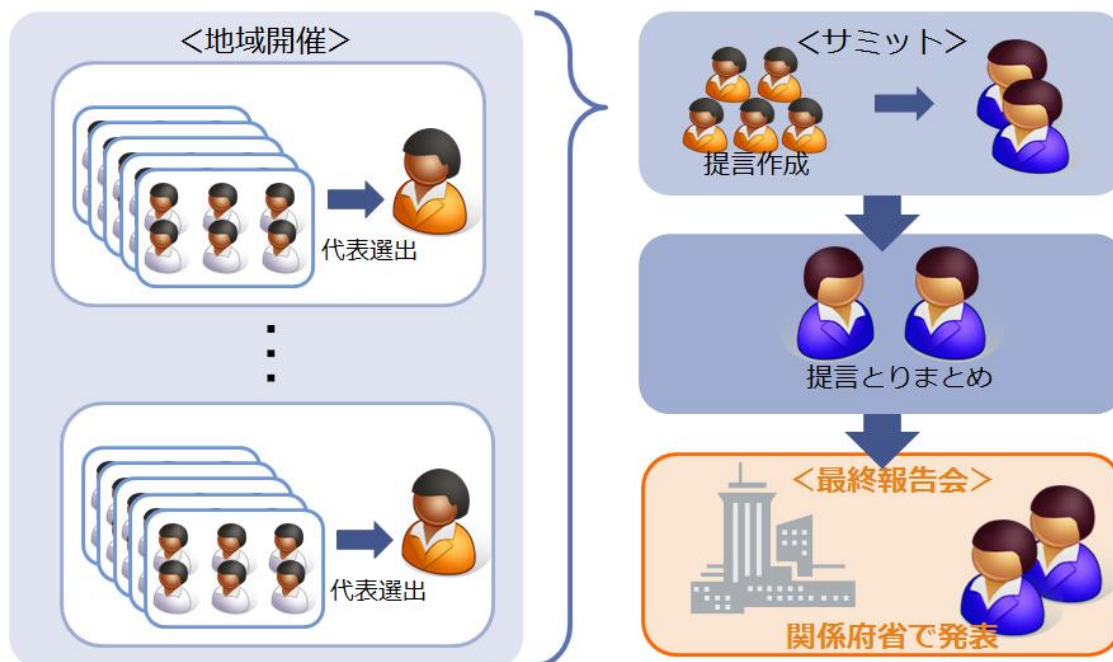
5. 高校生 ICT Conference 2019 サミット

高校生 ICT Conference 2019 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2019 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏む。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2019 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2019 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上